

買い物弱者支援

不登校の子どもたちを支援する「フリースペースあかね」(岡山市北区関西町)のスタッフらが、青果や日用品などを販売するよろず屋を同所にオープンさせ

た。近所の高齢者から「スーパーが遠い」との声があり、買い物弱者対策や住民のよりどころになればと考えた。

(鈴木麻美)

フリースペース あかねスタッフら 岡山市内によろず屋オープン



店内で今後の経営について話し合う(右から)中山さん、花田さんら

青果や日用品販売

店舗はあかねから南に数十坪の木造2階の1階部分(約35平方メートル)を改装。店名は「はなだ屋」で1月末に店開きした。あかねの関係者

るように畳のスペースもある。

岡山市によると2月末現在、同市北区関西町の人口は413人で、うち約36%に当たる149人が65歳以上。市の中心部でありながら、移動手段を持たない高齢者には最も寄りのスーパーが遠く、タクシーを使わざるを得ない人もいます。こうした場合、知り「活動を支援してくれている地域への恩返しになれば」と、あかねの代表を務める中山さん(25)らスタッフ3人が個人的に出店を



「はなだ屋」の外観

計画。関西町の主婦花田千春さん(62)も賛同し建物を提供、4人で経営している。

花田さんは「ここができて助かる」と言ってくれる人も。お年寄りも子どもも来てくれるので、自然と世代間交流が生まれてい

仮面モチーフ 高梁で作品展

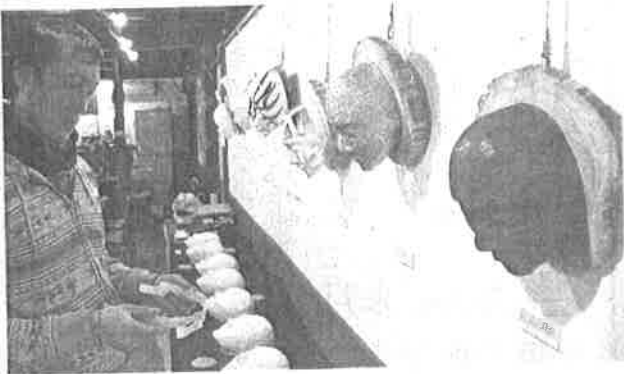
岡山の岩本さん

吉備国際大卒業後、創作活動を続けている会社員岩本雄基さん(29)岡山県東区二

による仮面をモチーフにした作品展が、高梁市本町のギャラリー・墮天使工房で開かれている。4月9日まで。女性の顔をかたどった石膏製の作品約40点を展示。歌舞伎の隈取りを施したり、全体に銀色のビーズをちりばめたりした仮面が並び、来場者がかぶることが出来る作品もある。

岩本さんは同大社会福祉学部を2010年に卒業。在学当時、同大教授だった彫刻家寺見章さんの影響を受けて創作を始めた。現在も会社勤めの傍ら仮面を題材にした立体作品を手掛けており、親交のあった同ギャラリーで初個展を開いた。

岩本さんは「かぶるだけで別人になった気分が味わえるのが仮面の魅力。さまざまな装飾を施した作品を見てほしい」と話している。入場無料。月、火曜休廊。午前11時～午後6時。(金原正樹)



仮面をモチーフにした作品と岩本さん

桜に彩られた津山市の鶴山公園 = 昨年4月

イ子押し 山陽新聞 digital

お花見のシーズンを控え、



雑貨、陶器、写真はこちら 最終日は後(たち)の 1時、北区 1駐車場。

品から、ストールや帽子、バッグなどの小物まで約200点を販売する。前10時～後7時半。 ◆期間限定本の特価販売 31日まで、寿町のアリオ倉敷(086-434-1111) 1階センターコート。館内に構える書籍・文具「廣文館」が料理や子ども向けの本を中心に、